科　目　名	科目区分	開講年次	必･選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
ゼ ミ ナ ー ル Ⅲ	**専門（ゼミナール）**	**3**	**必修**	**通年**	**4**	**鳥 越　淳 一**	**クラス分け**

英語科目名	Seminar Ⅲ	レベル	中級

＜授業概要＞

学生自身の興味・関心・将来的展望に従って、当該学部所属の教員の１人を選択し、その教員の専門領域や周辺領域について、より深く探求していくことを目的とする。教員数と学生数との割合を鑑みるに、少人数の集団が想定されるため、教員と学生との密な研究的関わりが想定できる。授業の展開方法は各教員に一任されることとなるが、典型的なアクティブ・ラーニングが実践される。加えて、従来からもそうであったが、教員にとっては、ゼミナールⅢに所属している学生に対しては、少なからず将来設計を一緒に考えていく場でもある。

本ゼミナールでは、（１）心理臨床的観点からパーソナリティの発達、障害、機能などを考え、人間理解を深めることと（２）共同研究を通して、チームで協力する際の動き方を内省し、習得していくことを目標としている。

＜到達目標＞

・　心理臨床の観点から、パーソナリティと心の健康がどのように関連しているのかを説明できる。
・　対人理解や対人援助を実践するための準備ができる。

＜ディプロマポリシー＞

・　国際人としてのアイデンティティを確立し、異文化に柔軟に対応するグローバルリテラシーを有する人材
・　高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材
・　常に社会に関心をもち、高い職業意識と自己管理能力を有する人材
・　自由な発想で問題発見・問題解決能力を有し、時代の変化に適応できる人材
・　上記の能力を発揮して、グローバル社会に貢献できる人材

＜学生へのフィードバック＞

随時、質問を受け付け、回答していく。

＜授業／AL の進め方＞

前期では､履修生各人が興味関心のあるテーマを持ち寄り､グループ研究のためのブレインストーミングを行う。後期では、チームで研究テーマの設定、調査方法の検討、調査の実施、調査で収集したデータの分析、分析結果の考察という一連の活動を通して研究方法及び研究に対する姿勢を体験的に学ぶ。

＜利用する ICT 機器＞

特に使用しない

＜成績評価＞

評価方法	割合	評価基準
課題	20%	資料のまとめ、発表を行う。問題の概要（現状や課題）を一人最低 2 回発表する。
プロジェクトへの貢献	40%	調査・分析・考察といった一連の研究活動にどのように貢献したか、授業内で相互評価を行う。
最終レポート	20%	通年で学んできたことを論文の形にする（問題・方法・結果・考察・文献リストが適切に書かれているかを評価する）。
実践レポート	20%	研究を生かした体験レポート、あるいは研究内容を実践するためにどのようなことが実践可能かの計画案を提出。
その他	3 分の 2（10 回）以上の欠席は成績の評価対象外となる。また、30 分以上の遅刻は 2 回で一回の欠席と見なす。	

＜教科書＞

・随時、必要な資料を配布する。

＜参考書＞

購入する必要は無いが、以下のものを資料として使用する。

＜受講学生へ＞

プロジェクトに関連する学会へ参加し、他大学の研究者や大学院生がどのような研究を行っているのかを学びに行きます。その際、旅費及び大会参加費などが必要となります。

【授 業 計 画】

第 1 回	授業内容	導入：共同研究の意義とブレインストーミングの行い方について
第 2 回	授業内容	ブレインストーミング（1）興味関心があることをまとめる
第 3 回	授業内容	ブレインストーミング（2）無批判に他者の考えに耳を傾ける
第 4 回	授業内容	ブレインストーミング（3）自分の視点を共有する
第 5 回	授業内容	ブレインストーミング（4）原因と結果の一連の現象についてまとめていく
第 6 回	授業内容	ブレインストーミング（5）ナラティブ形式で現象を考える
第 7 回	授業内容	ブレインストーミング（6）自分の考えと他者の考えを文章化して記録・保存する
第 8 回	授業内容	ブレインストーミング（7）ポートフォリオを作成する
第 9 回	授業内容	研究テーマの決定
第 10 回	授業内容	研究テーマにおける先行研究の確認（1）
第 11 回	授業内容	研究テーマにおける先行研究の確認（2）
第 12 回	授業内容	研究テーマにおける問題・現状の検討
第 13 回	授業内容	研究テーマにおけるリサーチクエスチョン及び仮説の検討
第 14 回	授業内容	研究テーマにおける調査方法の検討
第 15 回	授業内容	前期のまとめ：パーソナリティについての総復習と今後について
第 16 回	授業内容	研究プロジェクトの立ち上げ：プロジェクトの進め方について
第 17 回	授業内容	学外学修（学会等への参加）：パーソナリティ研究の最先端を知る
第 18 回	授業内容	学外学修（学会等への参加）：他の研究者の活動を知る
第 19 回	授業内容	研究テーマの再検討
第 20 回	授業内容	リサーチクエスチョン／仮説の再検討
第 21 回	授業内容	調査方法の検討（1）：量的アプローチの検討
第 22 回	授業内容	調査方法の検討（2）：質的アプローチの検討
第 23 回	授業内容	テーマの設定・調査方法の再検討
第 24 回	授業内容	調査（1）：予備調査
第 25 回	授業内容	調査（2）：本調査
第 26 回	授業内容	データの分析
第 27 回	授業内容	結果の作成（グラフや表を作成し、データ分析の結果を可視化する）
第 28 回	授業内容	調査結果の考察
第 29 回	授業内容	論文の作成（学会執筆要綱に準じた論文の作成）
第 30 回	授業内容	研究成果の発表

事前事後学修	前期：パーソナリティに関する資料を配布する。各パーソナリティがどのようなものかまとめ、説明ができるように準備・復習する。（毎回４時間を想定している） 後期：研究プロジェクトを発足し、授業外でも調査・分析を行い、論文を作成する。（毎回４時間を想定している）